

日本共産党議員団と語る 市民懇談会

中心市街地 活性化問題

1月29日(木) 18:30~20:30

上越市市民プラザ
第一会議室

13区での 通学バス問題



2月5日(木) 19:00~21:00

柿崎地区公民館
(総合事務所となり)

市内各地で 街角「さいの神」

10日から12日にかけて、市内各地で恒例の「さいの神」が行われました。

それぞれに工夫をこらした「さいのかみ」を組み、天をこがす炎で五穀豊穡、無病息災、家内安全

などを祈りました。上野議員は年男とあって点火を担うなど、各議員もそれぞれの地域で催しに参加し、地元の皆さんとの交流を深めました。

こうした四季折々の季節感を大切にしている伝統行事は、庶民の生活に根ざしたものです。だいに守っていききたいものです。



平良木議員の地元、上中田で

日本共産党上越市議員団ニュース

No.165 2009年1月18日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木哲也	525-9096	(上中田)

介護保険料基準額4,350円→4,950円 来年度からの介護保険事業計画案示される

1/14 厚生常任委員会所管事務調査

14日に行われた厚生常任委員会の所管事務調査では、第4期介護保険事業計画・第5期高齢者福祉計画と、第2期障害福祉計画が示されました。

介護保険では、来年度からの3年間の保険料の見込みも示され、平均約14%の値上げになる方向が明らかになりました。

なお、所得階層をいっそう細かく分けるなど、低所得者への一定の配慮も示されました。

計画の説明を受けて、特に千人以上の待機者がいて増加が緊急の課題になっている特別養護老人ホームについて、「3年で百床の増床は、待機者に十分に対応できる規模ではない。多くの待機者をどうするのか」といった追及が、平良木議員をはじめとした数人の議員から行われました。

これに対し、増設は課題だが、増やすことによって給付費も増え、結果的に保険料にはね返ることもあり、考えた末の百床の増設であり、苦渋の決断であるという趣旨の答弁がされました。

また、「高齢化に伴い保険料がこのままあがってはたいへん。制度そのものの見直しなど、国や県に抜本的に働きかけていく姿勢はどうか」という質問には、考え方への共感を示す一方で、国の制度の中でやっていることで限界があることと同時に、国に向けて働きかけをしていく姿勢も一定示されました。

低所得者に配慮した

保険料設定など求める

介護保険運営協議会が答申

7日に行われた上越市介護保険運営協議会では、昨春に市長から諮問された新事業計画についての答申が行われました。

定を可能にする保険料の弾力化を実施すること、

② 低所得者に配慮した保険料設定とすること、

③ 保険料の抑制とともにサービス低下を招かないよう配慮すること、

① 負担能力に応じた段階設

の3点を特に要望しました。

お知らせ ◆議会臨時会が1月19日に行われます。

議題は緊急経済対策に関する件です。年末からの金融危機や「派遣切り」への抜本的対策が求められている中での臨時議会です。

◆「議員定数に関する意見を聞く会」が、1月25日と2月1日に市内各地で開催されます。

(詳しい開催地などは市のホームページをご覧ください) 日本共産党市議団は、市民の皆さんの声をよりよく市政に反映させるために、定数を法定限度いっぱいの38名とするよう主張しています。

のかという質問に対し、「今年度末で2億7千万円である。保険料負担軽減のために生かした。当面、来年度は6千万円の支出を予定している」ことが明らかになりました。

平良木議員はこのほかに、「介護現場は労働条件が厳しく離職者が多い。介護崩壊が起こってはたいへん。雇用対策としても、介護現場の労働条件改善に取り組むべきだ」と指摘しました。